

新規・継続等	新規	分野	主要な道路の整備		事業番号	38	事業名	道路改築 (国道・小規模改築)					
市町村名	いなし 伊那市		ふりがな 箇所名	(国)152号 栗田 ~ 四日市場			事業年度 (完了年度は見込み)	H23年度 ~		H26年度			
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 L=1,500m W=6.5(11.0)m (うち橋梁3橋 L=70m)					H22年度末事業進捗率	0%					
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0%					
	H23年度実施内容	路線測量、詳細設計、用地測量、用地補償 1式					用地補償費ベース	0%					
	年度	全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降			
	事業費計(千円)	1,000,000		0		0		80,000		1,000,000			
財源内訳	国庫支出金	550,000		0		0		44,000		550,000			
	その他												
	県債	315,000		0		0		25,200		315,000			
	一般財源	135,000		0		0		10,800		135,000			
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				部		政策評価課		
									ランク	評点	ランク	評点	
	必要性 (25)	計画交通量	10,000台/日以上			1,500台以上~10,000台/日未満		1,500台未満		A	2	A	2
		代替道路	唯一の道路である			代替となる道路がある					2		2
		ネットワーク (道路網)	駅やインターチェンジが20km以内にある			駅やインターチェンジが20km以上にある		駅やインターチェンジに通じる路線でない			5		5
			通行不能区間、冬期通行規制の解消又は市街地の活性化に資する路線である			山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセスに寄与する		山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセス、市街地の活性化に寄与しない			2		2
		各事業特有の必要性 (安全の確保)	観光地に通じる道路			観光地に通じる道路ではない					2		2
			5.5m未満又は6.0m未満又は6%以上(幅員、半径、勾配)			5.5m以上6.5m未満(幅員)		6.5m以上(幅員)			4		4
		歩道未整備区間に歩道を設置			歩道はあるが不十分であるものを再整備		歩道整備無し		4		4		
	小計							21	21				
	重要性 (15)	関連計画との整合	県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(2個以上)			県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(1個)		該当なし		A	6	A	6
		設計上の環境配慮	環境配慮がされ現実性が高い			環境配慮がされているが現実性が低い		環境配慮をしていない		4	4		
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位置付けられている			緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域に位置付けられている		特別な位置づけはない		5	5		
		小計							15	15			
	効率性 (15)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上			B/C 1.0~1.5未満		B/C 1.0未満		A	6	A	6
		事業効果の早期発現 (H22以降事業年数)	事業年数 5年未満			事業年数 5年~10年未満		事業年数 10年以上		5	5		
		コスト削減	全体的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している。			部分的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している。		コスト削減はしていない		4	4		
	小計							15	15				
	緊急性 (25)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる			交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる		交通事故や落石等の危険がない		B	9	B	9
		各事業特有の緊急性 (渋滞対策・環境保全) (医療・福祉・教育)	渋滞箇所が緩和する			渋滞箇所ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する		渋滞対策ではない		4	4		
			医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)			医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)		医療・福祉の連携に関係ない道路		5	5		
	小計							18	18				
	計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い			市町村からの要望		特に要望がない		A	6	A	6
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知			関係者中心に周知		特に周知していない		3	3		
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加			住民や市町村の意見を計画策定に反映		特に住民意見は反映していない		8	8		
小計							17	17					
費用対効果(B/C)			1.7			評価の合計				A	86	A	86
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は諏訪地域と伊那地域、飯田地域を結ぶ地域間連絡道路であるとともに高遠城址公園、南アルプス連邦の玄関口として上伊那地域の重要な観光路線である。当概区間は伊那市高遠町内の(国)152号未改良区間の一つであり、幅員が狭く、人家が連担して視距が悪いため、大型交通のネックとなっている。このため、地元住民との協働による計画策定を行い、安全で円滑な交通の流れを確保するものである。											
	地域からの要望経緯	未改良区間であることから、毎年国道152号整備促進期成同盟会から要望があり、また、地元からも継続的に要望がある。											
	事業説明等の経緯	平成18年度より地元委員会と計画案について検討しており、平成19年10月には地区説明会においてルート案についての合意が得られている。平成22年5月6日の役員会において、設計VEによる見直しルート案で合意済み、早期着手の要望を受ける。											
	環境・景観への配慮項目	法面は、土羽構造により緑化を図る。 環境配慮制度対象箇所。											
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。											
特記事項	栗田・四日市場バイパス建設委員会と計画策定について、意見交換を行いながらルートの検討を進めている。												
地域の合意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他				
部意見	事業の必要性、重要性、効率性及び計画熟度が高いため、平成23年度から新規事業化したい。				政策評価課 意見		重要性が高く、必要性も認められる。						